

令和2年度 第2回 印西市社会教育委員会議 会議録要旨

- 1 開催日時 令和2年12月16日(水)
午後2時00分から午後3時40分まで
- 2 開催場所 印西市役所 3階 大会議室
- 3 出席委員 伊東委員、篠塚委員、浅田委員、恩田委員、川村委員
三城委員、菊地委員、桜井委員、松崎委員、篠原委員
石川委員、平石委員
- 4 欠席委員 二宮委員、河村委員、小林委員、小岩委員
- 5 事務局の出席 鈴木課長、清水係長、唐澤係長、山崎主任主事
- 6 内容 議事
(1) 社会教育関係団体情報交換会について
- 7 会議録

事務局 事務局より議事(1)について説明

委員 情報交換会は現段階では案でよいか。この内容で行うというわけではないという認識でよいか。

事務局 案である。

委員 アンケート結果より、以前にも情報交換会を行っているようであるが、いつどのように行ったのか。

事務局 10年ほど前に、市民活動推進課主催で行ったようである。対象は市民活動団体。各団体20分で活動内容等を紹介していく方式であった。団体数が多く、紹介のみで会議が終わった。

委員 1回のみで開催で継続性がなかったということか。

事務局 その後開催したという情報はない。

委員 事例発表を行う団体は決まっているのか。また、時間配分についてはどのように考えているのか。

事務局 具体的な時間配分は決めていない。事例発表の方法として、団体代表者から発表してもらう方法のほか、事務局職員が聞き取りを行い、取りまとめて報

告するような形も考えている。

委員 アンケート結果から、市への要望の声が多い。団体としては、この要望に対して、どのように応えてもらえるか、ということが今後の活動においても重要である。この要望へ回答するような内容の方がよいのではないか。今のままでは、1度開催して終わりとなってしまわないか。1回目は要望に対する回答を行い、2、3回目はテーマを決めて行うなどの方法はどうか。
アンケート結果からでは、どの団体がどのような点で困っているかがわからない。同じことで困っている団体を集めて情報交換を行う、あるいは成功している団体の事例を成功例として出したりといったこともできると思う。この結果からでは、団体名をふまえた上での開催方法の検討ができない。そのため、具体的にどの団体がどのような意見を持っているかわかるように結果を整理してもらいたい。

事務局 今回の資料ではあえて団体名を出さず、集計としてまとめたもの。川村委員がおっしゃるような、テーマを定めて情報交換会を行うという方法については検討してまいりたい。

委員 提示された案では各団体1名の出席ということであるが、1名では参加しづらい。現在30団体ほどあるかと思うが、これを3つに分け、10団体ずつ、2、3名が出席できるようにしてはどうか。何回か、何年間か続くような方法を検討してもらいたい。

委員 事務局として、1回限りのものではなく、継続して行うということによろしいか。

事務局 当初は、どの団体がどのような活動を行っているかわからない、というお話があったことから、まずは一堂に会し、お互いを知る機会を設けることを考え、本内容で提示させていただいた。川村委員から提案いただいたように、特定のテーマについて、対象となる団体を集めて情報交換を行うという方法での開催についても検討してまいりたい。

委員 本会議での提案は案であるとのことから、詳細については、今回出た意見を踏まえて詰めていくということによろしいか。その際には、私たち社会教育委員もお手伝いさせていただきたい。
現時点での決定事項としては、実施が2月ということによろしいか。また、参加者について、1名ということであるが、新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえて、複数名の参加についても検討してもらえるということによろしいか。
内容について、改めて相談させていただきたいがいかがか。

事務局 2月に本塾公民館で行うという点は決まっている。内容については、本会議

で意見をいただいているので、今後検討させていただく。また、参加人数についても、可能であれば複数人が参加できるように検討していく。1回目についてはこのような形で行いたいと思い、会議に諮らせていただいた。

委員 内容の変更については難しいということか。

事務局 この場でご意見をいただき、修正可能な点については検討してまいりたい。

委員 アンケートに対し、丁寧に回答していただいている。例えば、市に対する要望は何か、という設問に対して、市からの返答があったほうが、参加したいと思えるのではないか。何かしらの収穫がないと次には続かない。団体が求めるものが見えている中、それに対して可能な範囲でも回答があるとよいのではないか。

事務局 内容によっては、生涯学習課では回答できないものもある。所管する業務の中で回答可能なものについては、用意したうえで、当日に臨みたい。

委員 市にくみ取ってもらえている、とわかるような、例えば〇〇課と検討していくといった回答をしてもらえると、団体としては収穫が得られるかと思う。

事務局 検討していく。

委員 要望に対して回答を行わないと、市民が離れてしまう。すぐに対応できず、中長期的に検討していかななくてはならないもの、生涯学習課だけでは対応できないものについても、この情報交換会において、その旨の回答を行ってもらいたい。

事務局 承知しました。

委員 紹介シートについては団体の情報を1冊にまとめ配布することを目的としていると聞いている。これは必ずやっていただきたい。

委員 今回、各団体がどのような活動を行っているかを知ることが目的の一つであるとのことであったが、この案の中ではそのような項目がない。紹介シートだけではわからないので、活動内容を補ったうえで作成したほうがよいのではないか。例えば、写真を入れるなどしたうえで冊子とし、配布してはどうか。情報交換会の中で、各団体が説明を行うとするとそれだけで時間を使ってしまうため、不可能である。それならば、事前に紙ベースで用意しお渡しするという必要ではないか。

委員 私は自身が所属する団体のほか、数団体しか知らなかった。実際にはこれだけ多くの団体が所属していることに驚いた。その点では、各団体の代表者1名だけでも集まり、挨拶をするだけでも交流が生まれると思う。まずはお互

いを知ってから、次に進めても良いのではないか。その後で、お互いに困っていることなどにつながりが生まれると思う。まず集まって顔を合わせるものがスタート。

委員 私たちからも意見を提示させていただける場を設けていただくようお願いする。

事務局 2月下旬に情報交換会を予定しているが、その前にということか。

委員 その通りである。大枠はこれでよいかと思うが、時間配分など実施計画についてなどで参加させていただきたい。

事務局 以前おっしゃっていた、社会教育委員の中で担当となっていた方々ということではよろしいか。

委員 その通りである。その他の委員で参加したい方がいればその方も含めて行いたい。市民に近い立場から意見を述べたいと思う。事例発表の方法などについても話したい。

事務局 本会議のような社会教育委員会会議ではなく、ということではよろしいか。

委員 以前は勉強会と呼んでいたが、その通りである。それでは議事（1）についてはよろしいか。

（そのほか特に意見なし）

委員 開催について、よろしく願います。

事務局 報告（1）について

- ・令和2年度印旛郡市社会教育振興大会及び第2回印旛郡市社会教育委員連絡協議会会議について新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。表彰に関しては年度内に行えるよう調整中。
- ・第3回印旛郡市社会教育委員連絡協議会会議について、書面開催を検討中。以上の点を報告。

報告（2）について
資料2、3ページの通り実施したことを報告。

報告（3）について
出展作品数や視聴回数を報告。また、翌年度の市民文化祭について、会場で実施できた場合でもオンラインを併用することを検討している旨を報告。

- 委員 実施してみて、事務局としてはどのように感じたか。事業は成功といえるか。高齢者の方であれば、会場に行く足がないという場合に、オンラインであれば自宅で鑑賞できる。逆に、オンラインの操作ができず見られない等、意見はなかったか。
- 事務局 どちらの意見もあり、それぞれ良いところ、悪いところがある。ある程度の視聴があったことから、成功であったと考えている。
- 委員 再生回数で見るとマスクの作成動画が最も多い。これはどのような団体・個人が行ったのか。
- 事務局 市のシティープロモーション課で作成したものである。
- 委員 能楽については6点出ているようだが。
- 委員 文化祭が中止となり、オンラインで開催頂いて大変ありがたかった。他の市では中止となった中で、このような企画をされたこと、感謝している。
- 委員 来年度について、新型コロナウイルス感染症が落ち着いても並行して行ってもらいたい。
- 事務局 そのように検討している。
- 委員 市のホームページに掲載したのか。
- 事務局 その通りである。写真や動画を提出してもらい、編集して掲載した。
- 委員 ケーブルテレビは考えなかったか。
- 事務局 ケーブルテレビを利用した宣伝・放送を行った。
- 委員 目標数値の設定はあったか。
- 事務局 1動画100回、25本あるため、2,500と考えていた。それ以上の再生があった。
- 委員 昨年度の来場者数と同程度はあっても良いと思うがいかがか。
- 事務局 開催方法が異なるため、比較は難しい。去年は体験部門があり、参加者が多かったようである。
- 委員 本校では文化祭を公開できず、オンライン発表もなかった。このような方法は学校でも取れるのではないか。再生しているメディアはわかるか。スマー

トフォンなのかパソコンなのか。

事務局 わからない。どちらでも視聴できる。

委員 事前の広報手段はなにか。

事務局 ホームページ、広報、町内会回覧、小中学校へのチラシの配布、イオンでのデジタルサイネージの放映、市民課の窓口、公民館や市役所ロビーでのデジタルフォトフレームの設置やポスターの掲示などである。

委員 広報では、再生方法も併せて掲載したのか。

事務局 開催のパンフレットを作成し、再生方法を掲載した。

委員 広報が最も市民の手にわたるのではないか。

事務局 紙面の関係から、開催のお知らせのみであった。

委員 ホームページでは再生の仕方がわからない方は見ないかもしれない。非常に興味深い取り組みであったと思う。

委員 ケーブルテレビを利用すると効果的であったと思う。

委員 中学校ではいかがか。

委員 本校では体育祭は無観客、合唱発表会は例年文化ホールを使用していたが、学校で学年ごとの発表となった。体育祭は保護者が観られないため、YouTubeで限定配信を行った。URLが外部に漏れないようにし、当日ライブ配信、1週間観られるようにした。(在校生)約290名に対し6,000弱の視聴があった。「本当にありがとうございました。」とのお声もいただいた。合唱発表会の方もYouTubeで限定配信を行った。

委員 小学校はいかがか。

委員 教育課程を進めなくてはならないという事情もあった。授業参観もできないため、オンライン授業参観を行った。録画したものをYouTubeで配信。保護者からは「子どもの様子をじっくりと観ることができた。」とのお声をいただいた。今後は書初めや学芸会のような行事もオンラインを利用していく。

委員 先生が撮影されたのか、業者に依頼したのか。

委員 私が撮った。

- 委員 私が撮った。
- 事務局 報告（４）について
資料８、９ページの内容を報告。
- 委員 入口での検温はしないのか。
- 事務局 チェックシートでの確認が主。忘れてきた方の為、非接触型の温度計を用意し対応する。
- 委員 自宅でしていたとしても、入口で検温したほうが良いと思う。
- 事務局 実施するようにする。
- 委員 新成人の運営スタッフの推薦依頼が中学校宛に来るが、卒業から時間がたっているため、推薦が難しい。卒業の時点で照会してもらえるとお互いに良いのではないか。
- 事務局 今後は当年度の運営スタッフに後輩を紹介してもらおう等、方法を検討していく必要があると考えている。
- 事務局 報告（５）について
資料１０～１３ページの内容を報告。
- 委員 前回と比べ大きく変わっている部分はどこか。
- 事務局 形式は変わっているが、文化芸術活動の方は簡略化されている部分はあるものの、大きくは変わっていない。生涯学習関係についても大きくは変わっていない。図書館について市民の関心が高いようであるため、これまでは明確に記載されていない「図書館サービスの充実」を入れている。
- 委員 世間ではオンラインやデジタルの利用が多く、図書館も閲覧だけではなく他のサービスも組み合わせないと利用者が少ないと聞いているが、市では利用者が多いのか、また、その内訳はいかがか。
- 事務局 ５０代、６０代や子どもがいる母親、子どもたちの利用が多い。図書館への関心は高く、様々な意見をいただく。小倉台図書館は特に利用者が多い。
- 委員 小倉台が多い理由は何か。
- 事務局 夜間開館日には閉館時間でも多くの利用者がある。住宅が多い、駅が近い、商業施設があるなどが理由ではないかと推察する。

委員 小倉台図書館は他市でも話題になっている。工夫して運営されていることと思う。

委員 コロナ禍で利用後の衛生面について、返却後の衛生対策は何か行っているか。

事務局 補正予算を組み、書籍消毒器を各館に導入した。30秒～1分程度で同時に6冊まで消毒できる。きれいな状態で利用していただけるようになっているのではないかと思う。

事務局 報告（6）について、資料の14ページの内容から、一次内示があり、一部減額の査定があったことを報告。

使用した資料

令和2年度 第2回 印西市社会教育委員会議 資料

令和2年度 第2回 印西市社会教育委員会議の会議録は、事実と相違ないので、当会は、これを承認する。

令和3年2月1日

署名委員 伊東 洋樹